

ホタテガイ養殖管理情報

青森県 青森地方水産業改良普及所
むつ水産事務所
水産振興課

青森市水産振興センター

収容枚数やサイズに注意して、早めの分散作業を

1 海況

9月14日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の日平均水温は図1のとおりです。水温は23℃以下に低下しており、今後1ヶ月間の水温も平年並みからやや低めの見込みです。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード）をご覧ください。

2 稚貝の状況について

9月8日～13日に湾内8地点で、7月に採取した未分散稚貝の中段1段の成育状況を調査しました。測定結果は表1のとおりです。

平均殻長は西湾で18.0mmと、平成12～28年の高水温年を除く平均値（平年値）21.8mmよりも小さいサイズとなっていますが、東湾では20.7mmと、平年値（19.4mm）よりも大きいサイズとなっています。

へい死率は西湾で2.2%、東湾で0.5%と、平年値（それぞれ5.2%、5.9%）よりも低い値となっています。

3 稚貝分散作業時の注意点

- 1段当りの収容枚数が200～300枚台と多い地点が見られます。
- 分散が遅れると、稚貝の成長悪化や、異常貝増加によるへい死につながるので、早めに作業を行い、遅くとも11月末までに終わらせるようにしましょう。また、新貝と成貝向けの分散は10月末までに終わらせるようにしましょう。
- 1段当りの収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながるので、養殖方法に応じた適正な収容枚数（1段当り10～20枚）を心がけて作業してください。
- 潮流によるぶつかり合いで、外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死しないように、ネットにはオモリをつけましょう。また、潮流が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、施設を浮かせずぎないようにしましょう。

4 新貝の養殖管理について

玉付け・籠換え・掃除は、中層の水温が20℃を下回り、貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている」ことを確かめてから開始するようにしてください。

ただし、水温が23℃以下に低下しているので、海底に籠や耳吊りが着底している場合は玉付けを行っても構いません。

表1 各地点で7月に採取した未分散稚貝の成育状況

調査場所	調査月日	幹綱水深(m)	稚貝採取月日	稚貝採取時の篩いの目合(分)	パールネットの目合(分)	錘の有無・種類	生貝数(枚)	死貝数(枚)	へい死率(%)	異常貝率(%)	平均殻長(mm)
A	9月13日	22	7月26日	2.0	2	鉛100匁	166	8	4.6	10.0	19.2
B	9月8日	23	7月17日	1.5	1.5	鉛100匁・歯棒8段	367	7	1.9	5.0	16.1
久栗坂実験漁場	9月11日	30	7月25日	1.8	2	コンクリート2kg	56	0	0.0	0.0	18.6
西湾平均							196	5	2.2	5.0	18.0
C	9月10日	10	7月25日	2.2	2	鉛75匁	153	2	1.3	3.0	21.9
D	9月11日	15	7月15日	2.2	2	鉛100匁	226	0	0.0	6.0	21.8
E	9月11日	15	7月25日	1.5	1.5	鉛100匁	206	0	0.0	0.0	19.0
F	9月11日	20	7月28日	1.8	1.5	鉛100匁	238	1	0.4	2.0	20.7
川内実験漁場	9月11日	20	7月28日	2.0	2	コンクリート2kg	99	1	1.0	4.0	19.9
東湾平均							184	1	0.5	3.0	20.7

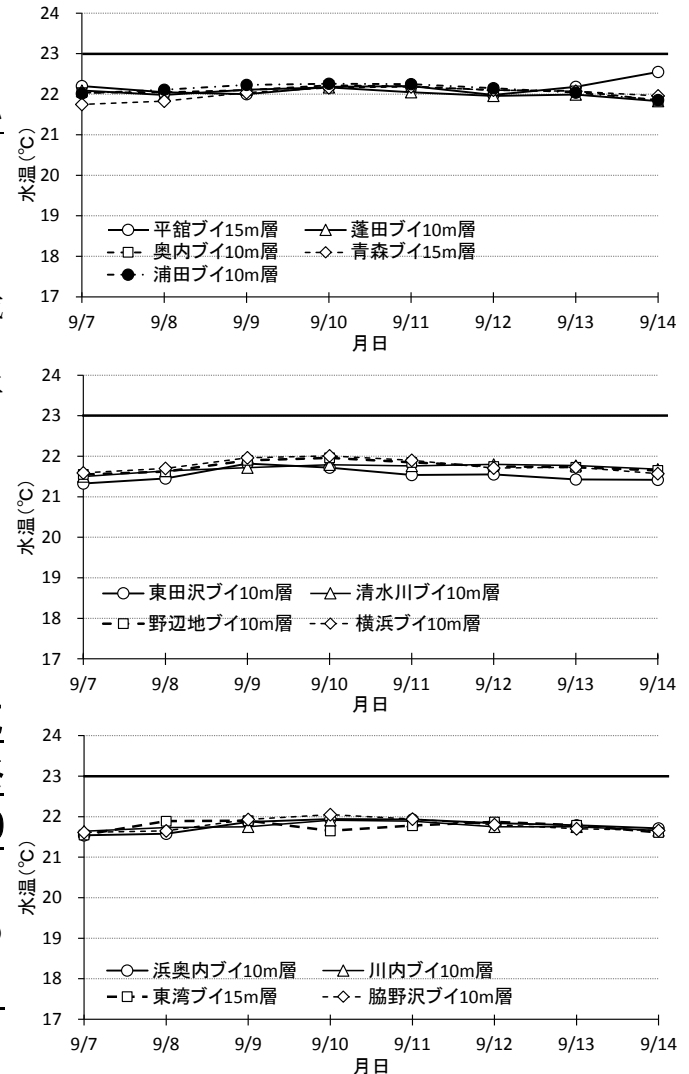


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

